

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2391300031		
法人名	株式会社アキズファイブ		
事業所名	グループホーム憩		
所在地	愛知県名古屋守山区小幡中三丁目4番2号		
自己評価作成日	平成29年11月10日	評価結果市町村受理日	平成30年3月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhiw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=2391300031-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市熱田区三本松町13番19号		
訪問調査日	平成30年2月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日を健康で楽しく生活する。入居者様が生き生きと明るく生活するお姿が、憩の自慢です。職員が入居者様の希望、要望に近づける様、常に努力している。本当の家族より、本物の家族になっておられます。利用者様が1日が楽しく過ごすように心掛けをしている。事故のないよう安全面に気をつけるように心掛けている。利用者様がアットホーム的な所であります。スタッフ全員が利用者とともに楽しく過ごせる、グループホームに築きあげる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1ユニットのホームでもあり、日常的に利用者が寄り添いながら生活しており、アットホームな雰囲気をつくっている。ホームでは、利用者が好みの場所で過ごすことができるように、建物1階のリビングの他にも2階のフロア内にもソファを配置することで、気の合う同士が他の方から離れて過ごすことができる配慮が行われている。リビングの壁には、ボランティアの方の協力も得ながら、毎月の切り絵による飾り付けが行われており、季節感にも配慮しながら、ホームのアットホームな雰囲気づくりにもつながっている。また、ホームで継続して行われている取り組みとして、区の福祉まつりへの参加、協力があげられる。ホームで日常的に利用者との歌の練習を重ねながら、福祉まつりの際には、舞台上で歌を披露する取り組みが行われており、利用者にとっては大きな目標にもつながっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	安心・安全・やさしさ、すべてのスタッフが常に頭において実践している あまりしていない	ホームの基本理念である「やさしさ、安心、だんらん」を利用者への支援の基本としており、日常的にアットホームな雰囲気をつくるようにしている。理念を事務室内に掲示しており、職員の目に付くようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	たまに地域の方々と交流している ボランティア(ハーモニカ、フラダンス、落語等々)きて頂いている 交流していない	地域の方とは、ホームの隣りで生活している地主の方を通じて行われており、回覧板等で情報を得て交流等につなげている。また、ホームにボランティアの方の訪問が得られており、利用者との交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	出来ていない 活かしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	出来る所は、サービス向上に活かしている 2ヶ月に一度、行っている 取り組んでいる	会議に際には、協力医療機関のコーディネーターの方の参加が得られる等、医療面に関する情報交換にもつながっている。また、ホームの行事を通じた交流も行われており、出席者にホームの取り組みを知ってもらう機会にもつなげている。	運営推進会議には複数の分野の方の参加を呼びかけているが、ホームからの地域の方の参加の働きかけについても取り組みに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	出来ていない あまり取り組んでいない	生活保護の方が生活しており、市の担当部署との情報交換等が行われている。また、区で行われている福祉まつりに、ホームからも利用者と参加、協力しており、舞台上歌を披露する取り組みが行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ一同 身体拘束をしないケアに取り組んでいる 常に取り組んでいる	玄関への出入口には金具を付けているが、身体拘束を行わない方針のもと、利用者が1階と2階のスペースで過ごすことができる配慮が行われている。また、日常的にも職員による言葉遣い等にも注意するような取り組みも行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待は絶対はない 注意をして努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強はしているが、今の所活用は出来ない 支援していない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分過ぎる説明を行い、質問等にも十分に行っている 十分な説明を行い、理解、納得を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎日開いているカンファレンスの時に反映させている 反映させている	福祉まつり等の行事の際には、家族にも案内を行っており、交流の機会をつくっている。家族からの要望等はホーム管理者が把握し、法人代表者に報告されている。また、毎月利用者毎の手紙の作成と写真の送付が行われている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	一か月に一回、話し合いの日をもうけている 反映させている	毎月の職員会議や日常的な休憩時間等を通じて、職員間での意見交換が行われており、職員からの意見等がホームの運営に反映できるように取り組んでいる。また、意見等は管理者を通じて、法人代表者にも報告されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	出来ない 努めていない		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	出来ない 進めていない		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	個人的には、同業者の方々と交流しているが、サービスにはつながっていない 取り組みをしていない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	常に本人の安心を確保するための関係づくりに努めている 関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	御家族様とは 関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	対応出来ていると思うし、対応に努めている 努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一つの家族になっている。入居者様とは、共に過ごし支え合う関係が出来ている 関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	出来ている 築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	出来ている コーヒーを飲みに行ったりしている 努めている	利用者の中には、入居前からの関係の方がホームに訪問したり、行きつけの美容院を継続している方があり、関係継続にもつながっている。また、携帯電話で電話をしている方や、ホームからも家族にお願いしながら、一緒に喫茶に出かけた方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一つの輪になって、親、兄弟以上に仲良く支え合って生きている 努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	出来ている 相談や支援に努めていきたいと思います		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いをしっかりと聞き、希望、意向に合った生活を整えている 一人ひとりとゆっくり話す機会をもうけている 努めている、検討している	1ユニットの少人数の職員体制である利点を活かしながら、日常的な職員の気付きを共有する取り組みが行われている。また、毎月のミーティングを通じた利用者に関するカンファレンスも行われており、意向等を日常の支援に反映する取り組みが行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの暮らしを大切にし、その人らしい生活環境を整えている 努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	事由にその人らしく、やりたい事を応援している 努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者様がより良い暮らしが出来る様、本人、家族様等と常に向き合っている 面会に来られた時に、常に話し合いをしている 作成していない	介護計画については、6か月での見直しが行われており、モニタリングについても計画の見直しに合わせた実施が行われている。また、家族との面談を行いながら、家族からの意向等の把握が行われている。	介護計画を個人記録用紙にも添付しているが、職員間での共有が充分に行われていない。介護計画の内容に関する職員間の共有と日常の支援への反映に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	カンファレンスの時、話し合っている 活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来ていない 取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	支援を行っている 支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	毎月2回、クリニックの先生が来られます 支援している	訪問診療専門の医療機関と連携しており、協力医による定期的な訪問診療や随時の対応が行われている。受診支援についてもホーム職員による対応が行われている。また、協力医療機関の看護師による利用者の健康チェック等の対応も行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎月2回、看護師が来られます 受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関とは、良い関係が出来ている 関係づくりを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	今の所、重度化した入居者がおられず支援していない 取り組んでいる	ホームでの看取り支援を行わない方針で家族への説明等が行われているが、現状、重度の方も生活しており、ホームで可能な対応が行われている。また、医療面の連携を深めながら、家族への説明等の対応が行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	訓練はしていない 身に付けている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署と協力しながら、避難訓練を行っている 築いているようにする	年2回の避難訓練を実施しており、夜間を想定した訓練の実施や通報装置の確認等が行われている。ホームの隣りにホームの大家が生活していることで、協力をお願い等が行われている。地域の方との協力関係や備蓄品の確保についてはテーマでもある。	利用者が1階と2階に生活している建物の構造上、地域の方との協力関係についても、ホームからの継続した働きかけに期待したい。また、備蓄品の確保が行われていないため、備蓄品の確保にも期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の人格を重し、言葉、態度には、十分気を配っている 丁寧な言葉遣いをし、誇りやプライバシーを気づけていない様に対応している 対応している	理念に掲げている、優しさを大切にした支援を行うように、職員の意識等につなげている。職員による対応で管理者が気になった際には、ミーティング等の機会を通じて、言葉遣いや対応に関する振り返りや注意喚起等が行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	希望はほとんど叶えてあげています。何でも話し合える雰囲気作りに気をつけている 働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	希望通りに支援している 支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	時には化粧をしたり、髪形をかえたり、おしゃれをしている あまり支援していない		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	1ヶ月に一回、ランチを食べに外出している していない	食材業者によるメニューに基づき、職員による調理が行われている。重度の方が生活していることもあり、ミキサーやトロミ等の食事形態の配慮が行われている。また、季節等に合わせた行事食や外出等の取り組みも行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体重を計り、体重の変化がない様、食べる量、栄養バランスに気を遣っている 支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	朝、昼、夜と3回、口腔ケアを行っている。清潔にしている している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	ほとんど自立しており、トイレでの排泄に力を入れている 支援を行っている	利用者に関する排泄状況を日常的に職員間で共有するように取り組んでおり、一人ひとりに合わせた排泄支援につなげている。また、利用者の中には、オムツでの排泄からトイレでの排泄に改善した事例も得られている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	運動、食事の面から、ほとんど便秘の方はいない 取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	曜日は決めているが、ゆっくりその人に合った入浴を提供している 支援をしている	ホームでは、週2回の入浴日が決まっているが、現状、全員の方が入浴しており、入浴を拒む方にも声かけ等の対応で入浴につなげている。また、浴槽での入浴が困難な方についても職員複数での対応が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	支援しています 支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬には、十分気を付けて行っている 努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	楽しみごとを作り、福祉祭りを始め、色々と参加している 支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出は前もって計画をし行っている。(その他の外出は)遠い所は家族様をお願いしている 支援している	日常的には、近隣にある公園等への散歩が行われている。花見、ビール工場、区の福祉まつり等への外出行事が行われている。また、ホームでは外食の機会をつくっており、利用者の楽しみにつなげている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金は職員が管理している。買い物の際は本人に必要な分だけ渡している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話で自由に友達、家族に電話されている支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花や絵を飾ったり、季節感を採り入れている工夫をしている	ホーム内には、利用者がリビング以外の場所で寛ぐことができる場所が確保されており、ゆったりと過ごすことができる環境が整えられている。また、ボランティアの方の協力を得た、季節感にも配慮した飾り付けが行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	1階、2階にソファを置いてあり、そこで気の合った方々が話されている工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の宝物は目の届く所に置いてあります工夫をしている	居室については、シンプルな雰囲気のある居室もあるが、利用者の意向にも合わせながら、使い慣れた家具類やテレビの他にも思い出の品々等、様々な物の持ち込みが行われている方もいる。また、居室にはベッドが備え付けとなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全、かつ、自立した生活が送れる様、常に工夫している工夫をしている		